

GW 期間中に町で3試合を開催 福島レッドホープス公式戦

ルートインBCリーグ・福島レッドホープス公式戦が4月29日、30日、5月3日の3日間、福島レッドホープス西会津球場で開催されました。

29日の試合前には、西会津応援大使委嘱状交付式が行われ、薄町長から福島レッドホープスの岩村明憲監督に委嘱状が手渡されました（写真上）。

この3日間は3試合が行われ、駆け付けた観客の皆さんから熱い応援で球場も盛り上がりました。降雨コールドの試合や、試合途中で悪天候に見舞われる場面もあり、1勝2敗という結果で終えました（写真下は5月3日の試合より）。



国境を越えた異文化交流 台湾から西中生へ贈り物

東日本大震災への支援をきっかけに続けている会津地方と台湾の交流事業の一環で、西会津中の全校生徒に台湾の書籍やお菓子などが贈られました。4月14日には、西中と台湾をオンラインでつないで交流が行われました。生徒を代表して齋藤愛華さん（3年）が「贈り物ありがとうございます。これをきっかけに多くの方が西会津と台湾を行き来できるようになることを願っています」とお礼の言葉を述べました。



▲ 龍泉寺で岩橋さんから説明を受ける西高生（写真提供：西会津高校）



▲ 3年生と台湾関係者で記念撮影

西高生が奥川地区を歩いて学ぶ 「歩く・学ぶ・西会津」

5月2日、西会津高校の恒例行事「歩く・学ぶ・西会津」が行われ、今年は町集落支援員の岩橋義平さんを講師に迎え、生徒たちが奥川地区の史跡などを歩いて巡りました。

始めに出戸の岩屋虚空蔵尊へ向かい、岩窟のお堂で生徒たちは仏像（おびんずる様）を持ち上げながら願い事をしました。その後も真ヶ沢の龍泉寺や極入の大聖歓喜天を訪れ、岩橋さんの説明を受けながら歴史や文化について理解を深めました。



県内59市町村を音楽とともに巡る旅が西会津へ 風とロック CARAVAN 福島

県内59市町村を巡りその地域の魅力を発信するイベント「風とロック CARAVAN 福島」が、4月23日に西会津中学校多目的ホールで開催されました。西会津町で開催されるのは平成28年（2016）以来で、クリエイティブディレクターで郡山市出身の筋内道彦さんが中心となって企画・運営されています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、3カ月ぶりの有観客での開催となったこの日は、約130人が来場しました。前半は筋内さんと町民ゲストによるトークショーが行われ、西会津国際芸術村の矢部佳宏さんと地域おこし協力隊の片岡美菜さん、大山葉那さんが町の魅力や文化などについてトークを繰り広げました（写真上）。イベント後半には音楽ライブが行われ、郡山市在住のひとりぼっち秀吉 BAND と福島市出身の片平里菜さんが出演し、会場を盛り上げました（写真下）。

日々の訓練の成果を披露 町消防団 春季消防検閲

4月24日、町消防団による春季消防検閲が実施されました。町内で会場を移しながら、閲団式や検閲式などが行われ、検閲式では町消防団の渡部晋団長が「火災や災害から町民の皆さんを守るため団員一丸となって無火災を目指していく」と決意を述べました。また検閲式終了後には、大槻橋において放水訓練が行われ、ポンプ操作や連携などを確認しました。



税金に関する知識を学ぶ 西会津小で租税教室

西会津小学校の6年生を対象に、税金の大切さや役割を学ぶ「租税教室」が4月28日に行われました。当日は町の税務担当職員が講師を務め、税金に関する資料やアニメを見たり、1億円のレプリカに実際に触れたりしながら、税金が身の回りでのどのような役割を果たしているか理解を深めました。